
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2009年第6週
(2月2日～2月8日)

- * 2009年2月12日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルス株の検出状況を
18頁に掲載しています。

平成21(2009)年2月13日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)

FAX：03-5332-7365

e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2009年6週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		3週	4週	5週	6週		6週	年累計
一 類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二 類	急性灰白髄炎							
	結核	58	48	74	63	334	322	2102
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
	鳥インフルエンザ (H5N1) **							
三 類	コレラ							
	細菌性赤痢	2	1			3	3	14
	腸管出血性大腸菌感染症	1				2	6	60
	腸チフス			1		1		2
	パラチフス							
四 類	E型肝炎				1	1	1	3
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎						1	8
	エキノкокクス症					1		1
	黄熱							
	オウム病							1
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症	1				1		1
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					1		31
	デング熱	1	1			3	2	12
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							2
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア			1	1	3	1	7
野兔病								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	3	1	1		10	9	78	
レプトスピラ症							1	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		3週	4週	5週	6週	年累計	6週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	4	4	1	4	19	7	89
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	1		2	1	7		16
	急性脳炎 ***	1	1	1	1	4	2	34
	クリプトスポリジウム症							
	クロイツフェルト・ヤコブ病					2	2	12
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1			2		12
	後天性免疫不全症候群	15	6	12	12	57	10	131
	ジアルジア症	1		1	1	4		5
	髄膜炎菌性髄膜炎							3
	先天性風しん症候群							
	梅毒	1	10	4	3	20	6	63
	破傷風					1		5
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1			1	1	10
風しん			1		1	5	15	
麻しん	3	4	4	3	14	11	94	
2009/2/12集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** 2008年5月12日から指定された。

*** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 63件 肺結核38件、その他の結核9件、肺結核及びその他の結核3件、無症状病原体保有者12件、疑似症患者1件で、推定感染地はすべて国内。年齢は5歳未満1件、10歳代1件、20歳代12件、30歳代6件、40歳代6件、50歳代5件、60歳代12件、70歳代11件、80歳代7件、90歳代2件であった。

〈三類感染症〉

三類感染症の報告はなかった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 1件 推定感染地は国内(詳細不明)で、レバー喫食との関連が疑われている(動物の種類と調理法は不明)。

マラリア 1件 熱帯熱マラリアで、推定感染地はシエラレオネ(西アフリカ)であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 4件 腸管アメーバ症3件、腸管及び腸管外アメーバ症1件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路は性的接触2件(同性間1件、異性間1件)、不明2件であった。

ウイルス性肝炎 1件 B型で、推定感染地は国内、推定感染経路は同性間性的接触であった。

急性脳炎 1件 病原体はインフルエンザウイルスA型で、患者年齢は10歳未満であった。

後天性免疫不全症候群 12件 無症候性キャリア7件、AIDS 4件、その他1件で、推定感染地は国内10件、不明2件、推定感染経路は性的接触10件(同性間8件、異性間2件)、その他1件(売血行為における針共有)、不明1件であった。

ジアルジア症 1件 推定感染地はタイで、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

梅毒 3件 早期顕症Ⅱ期1件、無症候2件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路はすべて性的接触(同性間2件、異性間1件)であった。

麻しん 3件 麻しん(検査診断例)1件、麻しん(臨床診断例)2件、年齢は5歳未満2件、10歳代1件であった。麻しん含有ワクチン接種歴は1回2件、不明1件であった。

※第5週該当分として、五類 麻しん 1件(麻しん臨床診断例、5歳未満、麻しん含有ワクチン接種歴1回)の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2009年6週

定点種別	対象疾患	2009年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		3週	4週	5週	6週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	8	12	5	7	0.05	146	150
	咽頭結膜熱	19	21	18	31	0.21		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	242	297	296	347	2.38		
	感染性胃腸炎	980	1,124	1,022	944	6.47		
	水痘	162	175	132	192	1.32		
	手足口病	4	12	11	5	0.03		
	伝染性紅斑	28	37	29	31	0.21		
	突発性発しん	77	65	68	72	0.49		
	百日咳	6	0	7	4	0.03		
	ヘルパンギーナ	4	6	5	3	0.02		
	流行性耳下腺炎	61	52	61	47	0.32		
	不明発しん症 (注1)	7	6	11	6	0.04		
	MCLS(川崎病) (注1)	1	3	2	1	0.01		
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	4,736	9,166	8,582	4,921	17.33	284	290
眼科	急性出血性結膜炎	0	0	1	2	0.05	37	39
	流行性角結膜炎	14	8	7	14	0.38		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	1	0	2	1	0.04	23	24
	無菌性髄膜炎	0	1	0	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	1	4	6	4	0.17		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	2	1	3	0.13		
2009/2/12集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病) は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻疹、成人麻疹は2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。2008年の同時期と同レベルであるが、過去5年平均の同時期よりも高いレベルで推移しており、注意が必要である。
- ・百日咳の定点当たり報告数は減少したが、過去5年平均の同時期よりも依然高いレベルにあるので、注意が必要である。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は減少した。過去5年平均の同時期とほぼ同レベルであるが、継続して都全体の警報レベルにあるため、引き続き注意が必要である。保健所管轄地域31か所中、警報レベルにある地域は13か所(警報継続基準値10人/定点以上の地域も含む)、注意報レベルにある地域は13か所であった。
- ・クラミジア肺炎の定点当たり報告数は増加し、継続して患者報告がみられている。過去の同時期にはほとんど報告がなく、引き続き注意が必要と思われる。

(定点医療機関からのコメント)

* インフルエンザに関するコメントは13-15頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2009年6週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	2		1	5	4			1		
～11か月	1	1	6	38	4			31	1	
1歳	3	4	13	126	33	1		33		1
2歳		6	20	77	44	1	2	7	1	
3歳		5	16	70	24		6			1
4歳		6	51	71	25	1	3			
5歳		3	40	69	21	2	5			
6歳		2	49	64	13		3			
7歳		1	42	55	7		5			
8歳			29	39	10		2			1
9歳		1	19	31	3		2		1	
10～14歳		1	35	100	4		2		1	
15～19歳			2	23						
20～29歳	1	1	24	176			1			
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	7	31	347	944	192	5	31	72	4	3
先週比	2	13	51	-78	60	-6	2	4	-3	-2

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月				15		
～11か月		1	1	56		
1歳	1	3		163		
2歳	6	1		163		
3歳	7			228		
4歳	8			330		1
5歳	6			365		1
6歳	11			392		
7歳	2	1		388		
8歳				348		
9歳	3			236		
10～14歳	3			799		
15～19歳				217		
20～29歳				269		3
30～39歳				437		7
40～49歳				314	2	
50～59歳				129		1
60～69歳				37		
70～79歳				25		1
80歳以上				10		
合計	47	6	1	4921	2	14
先週比	-14	-5	-1	-3661	1	7

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2009年6週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		2
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		1
20～29歳		
30～39歳		
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計		3

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2009年6週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				9			1	1		
中央区			6	4	9			2		
みなと	1	6	14	51	2			2		
新宿区	2	1	5	18	3	1				
文京			2	8	5			2		
台東		3	6	21	1	1		8		
墨田区			5	23	3			1		
江東区			7	56	4		1	4		
品川区	1	1	12	53	10		2	3	1	
目黒区			1	16	3			2		
大田区	2	11	19	66	12	2	15	7		
世田谷		2	9	47	6	1	3	2		
渋谷区			3	16	4		3	1		
中野区			8	74	2					
杉並			14	40	2			1		
池袋			2	21	3					
北区			5	37	8			2		
荒川区				5	8			1		
板橋区			4	14	1					
練馬区		1	3	25	7		1			1
足立		1	2	15	10					
葛飾区			5	7	11		1	1		
江戸川		1	45	30	7		1	5		
八王子市			93	58	19			5	1	
西多摩			3	25	6			1		
南多摩			8	38	5			1	2	1
町田	1		31	53	21		3	2		1
多摩立川			4	22	6					
多摩府中		1	5	31	5			9		
多摩小平		3	26	55	7			9		
島しょ				6	2					
東京都合計	7	31	347	944	192	5	31	72	4	3

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】2009年6週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				22		
中央区	1			35		
みなと	1			86		
新宿区				90		2
文京	1			86		2
台東	3			71		
墨田区	1			109		
江東区	4	1		166		1
品川区	3	1		146		
目黒区				53		
大田区	1			348		
世田谷		1		233		
渋谷区				87		1
中野区				201		
杉並	1			171		
池袋				113		
北区				107		
荒川区	1	1		42		1
板橋区				114		1
練馬区	5		1	170		
足立	2			117	2	1
葛飾区	2			140		
江戸川	2			239		
八王子市	7			275		1
西多摩				276		
南多摩	3			215		
町田	5	2		336		1
多摩立川	2			148		
多摩府中				366		1
多摩小平	2			352		2
島しょ				7		

東京都合計	47	6	1	4,921	2	14
-------	----	---	---	-------	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		1
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		1
足立		
葛飾区		1
江戸川		
八王子市		
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計		3
-------	--	---

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2009年6週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				2.25			0.25	0.25		
中央区			2.00	1.33	3.00			0.67		
みなと	0.17	1.00	2.33	8.50	0.33			0.33		
新宿区	0.33	0.17	0.83	3.00	0.50	0.17				
文京			0.67	2.67	1.67			0.67		
台東		1.00	2.00	7.00	0.33	0.33		2.67		
墨田区			1.67	7.67	1.00			0.33		
江東区			1.75	14.00	1.00		0.25	1.00		
品川区	0.17	0.17	2.00	8.83	1.67		0.33	0.50	0.17	
目黒区			0.33	5.33	1.00			0.67		
大田区	0.22	1.22	2.11	7.33	1.33	0.22	1.67	0.78		
世田谷		0.25	1.13	5.88	0.75	0.13	0.38	0.25		
渋谷区			0.75	4.00	1.00		0.75	0.25		
中野区			1.33	12.33	0.33					
杉並			2.80	8.00	0.40			0.20		
池袋			0.40	4.20	0.60					
北区			1.25	9.25	2.00			0.50		
荒川区				2.50	4.00			0.50		
板橋区			0.67	2.33	0.17					
練馬区		0.20	0.60	5.00	1.40		0.20			0.20
足立		0.33	0.67	5.00	3.33					
葛飾区			1.67	2.33	3.67		0.33	0.33		
江戸川		0.20	9.00	6.00	1.40		0.20	1.00		
八王子市			23.25	14.50	4.75			1.25	0.25	
西多摩										
南多摩			2.00	9.50	1.25			0.25	0.50	0.25
町田	0.25		7.75	13.25	5.25		0.75	0.50		0.25
多摩立川			0.67	3.67	1.00					
多摩府中		0.10	0.50	3.10	0.50			0.90		
多摩小平		0.50	4.33	9.17	1.17			1.50		
島しょ				6.00	2.00					

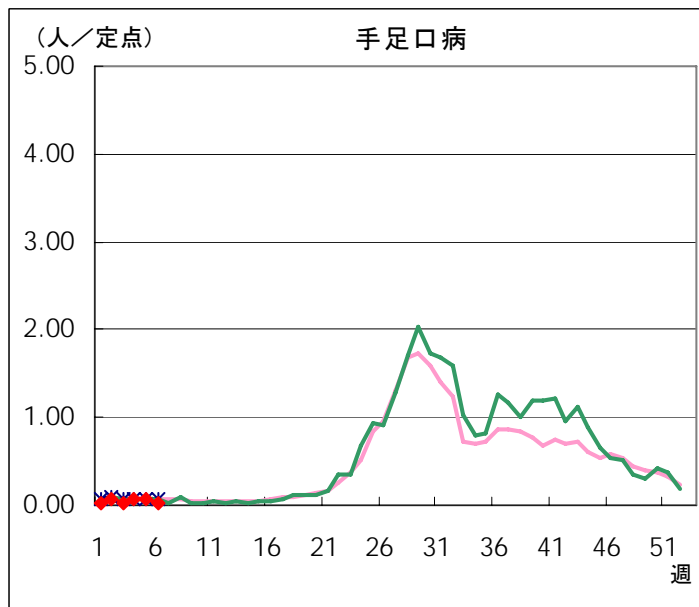
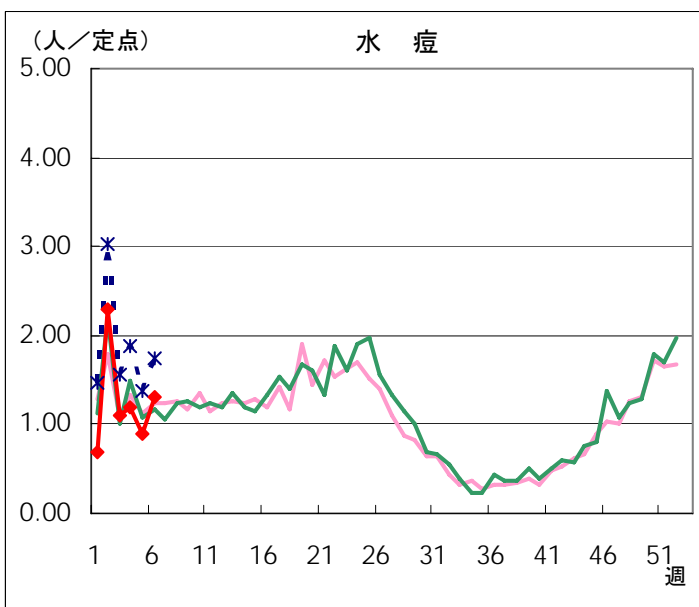
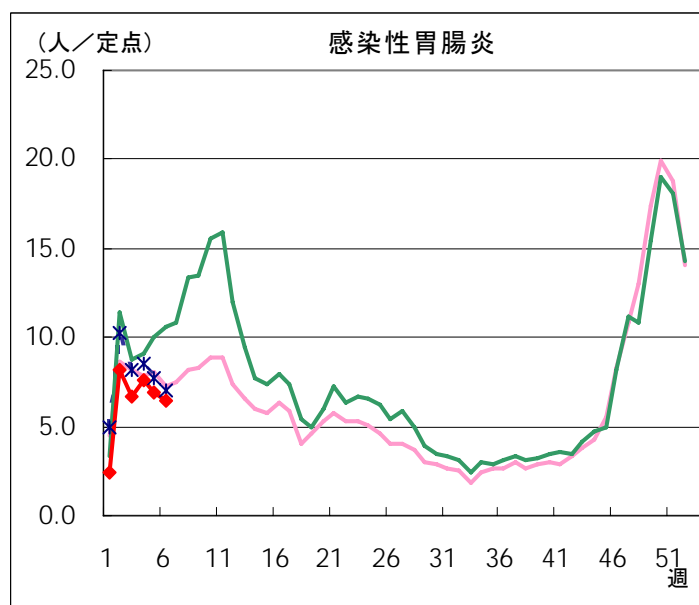
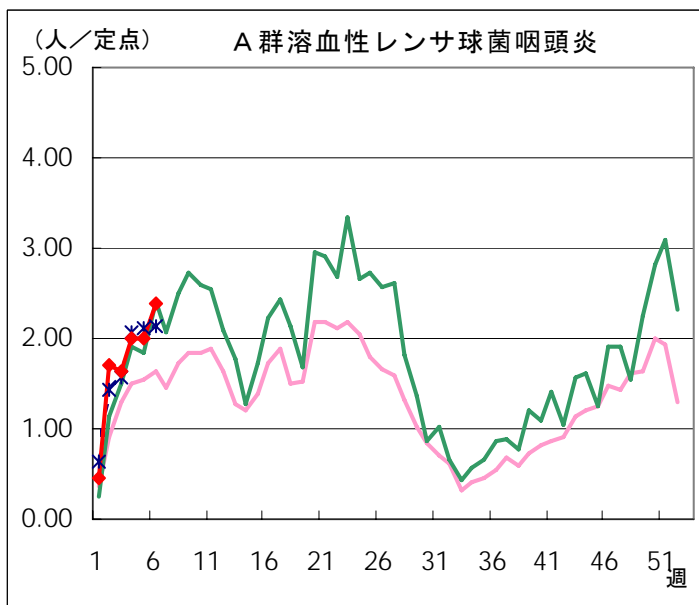
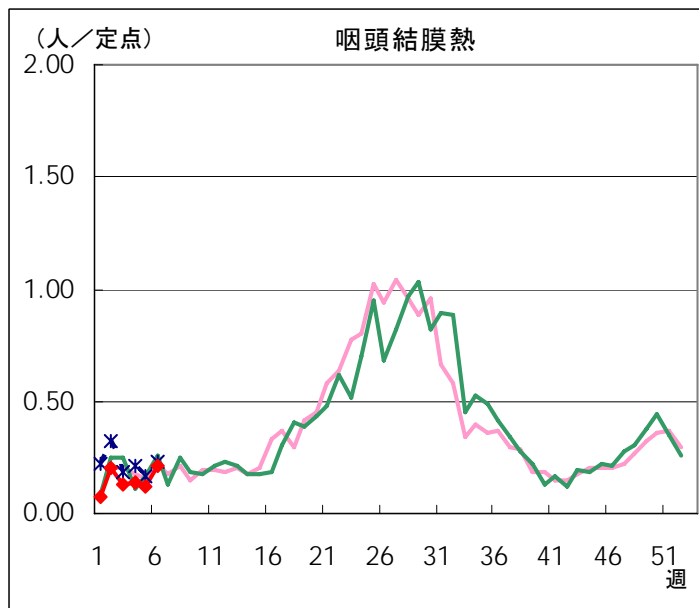
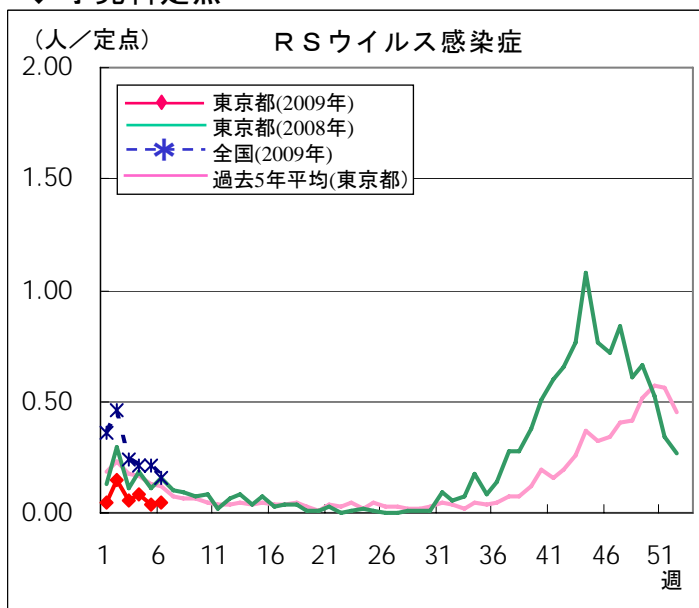
東京都	0.05	0.21	2.38	6.47	1.32	0.03	0.21	0.49	0.03	0.02
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

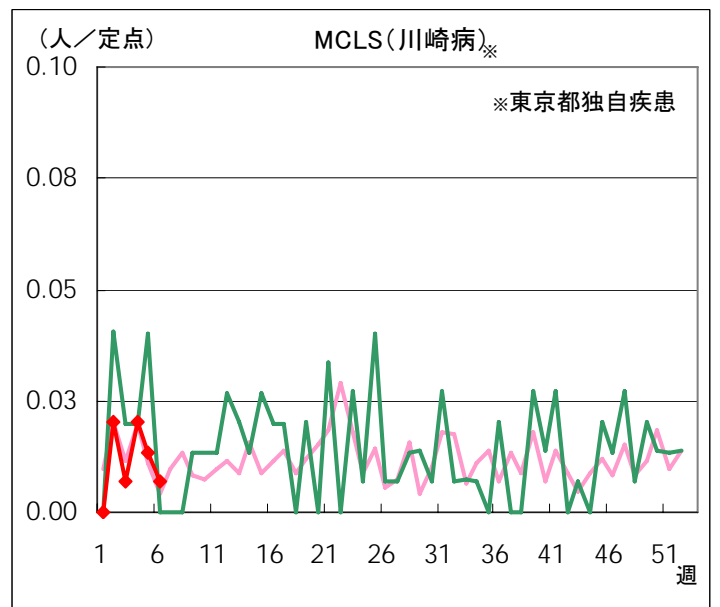
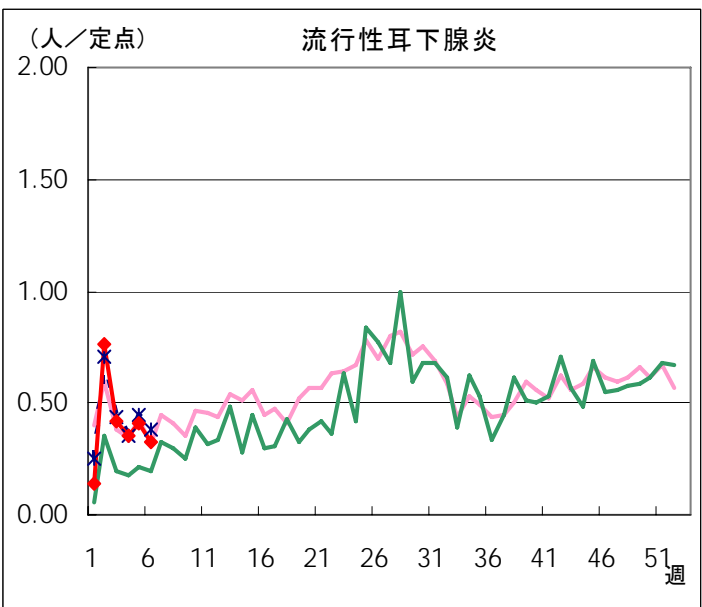
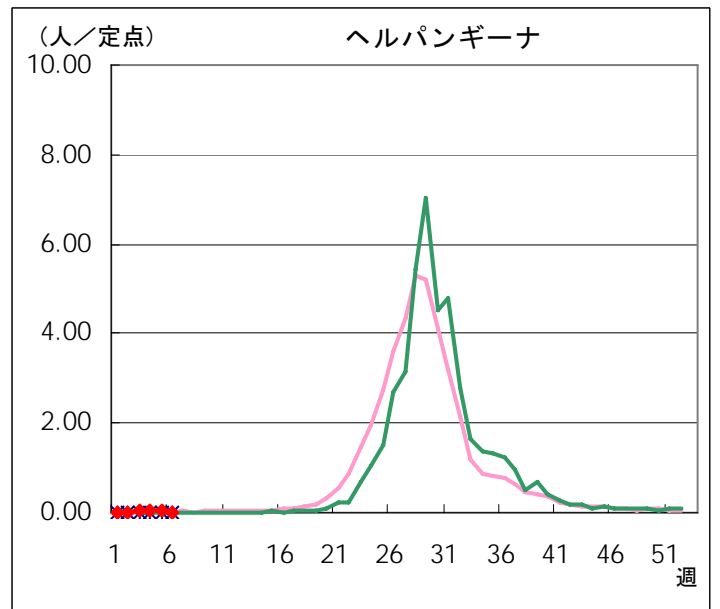
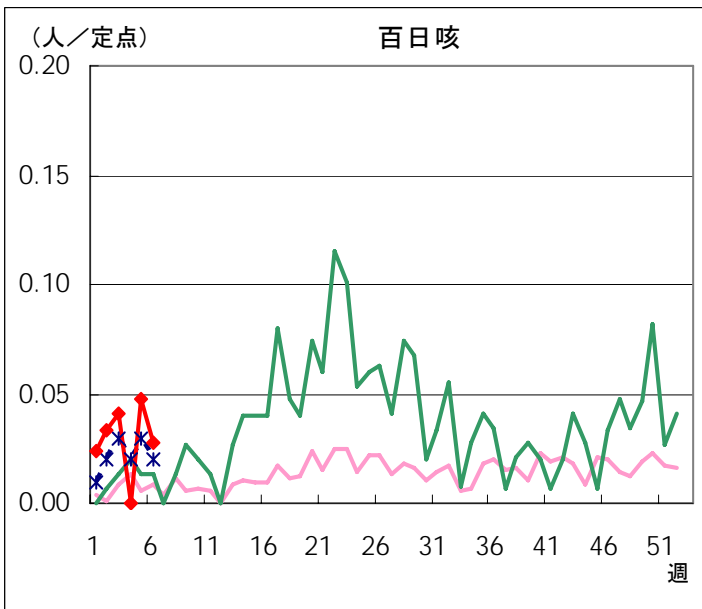
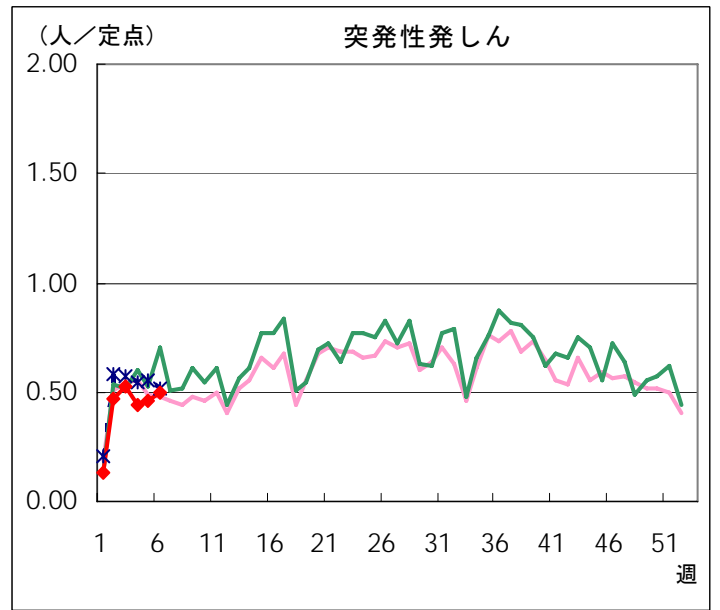
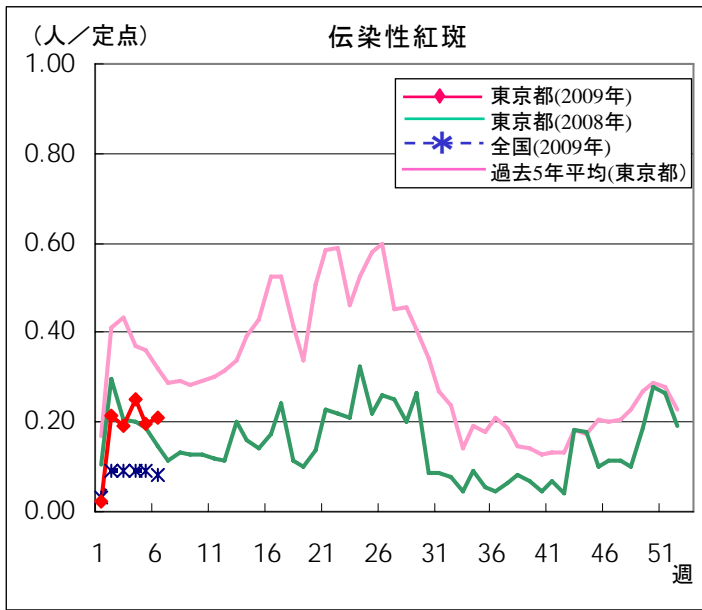
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				4.40		
中央区	0.33			8.75		
みなと	0.17			10.75		
新宿区				10.00		1.00
文京	0.33			17.20		2.00
台東	1.00			14.20		
墨田区	0.33			18.17		
江東区	1.00	0.25		18.44		1.00
品川区	0.50	0.17		14.60		
目黒区				8.83		
大田区	0.11			21.75		
世田谷		0.13		15.53		
渋谷区				14.50		
中野区				22.33		
杉並	0.20			17.10		
池袋				14.13		
北区				13.38		
荒川区	0.50	0.50		10.50		1.00
板橋区				9.50		0.50
練馬区	1.00		0.20	14.17		
足立	0.67			11.70	1.00	0.50
葛飾区	0.67			17.50		
江戸川	0.40			19.92		
八王子市	1.75			27.50		0.50
西多摩				30.67		
南多摩	0.75			23.89		
町田	1.25	0.50		37.33		1.00
多摩立川	0.33			11.38		
多摩府中				17.43		0.50
多摩小平	0.33			25.14		1.00
島しょ				3.50		

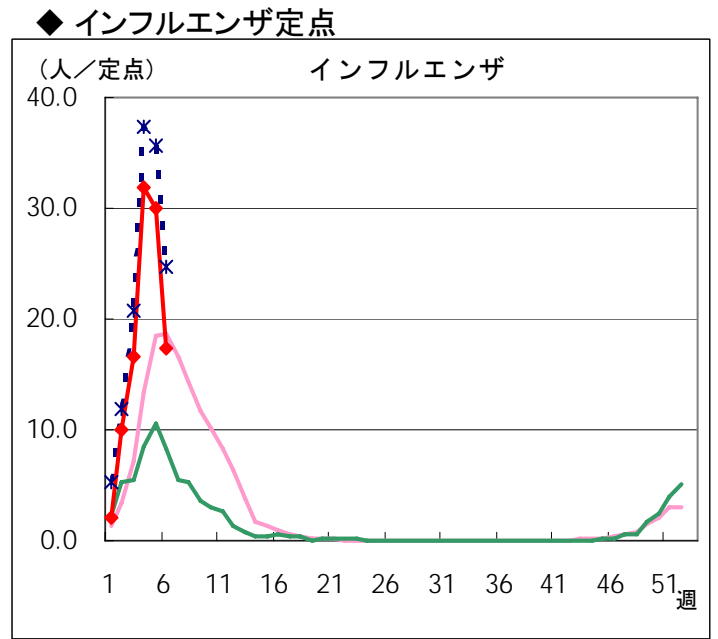
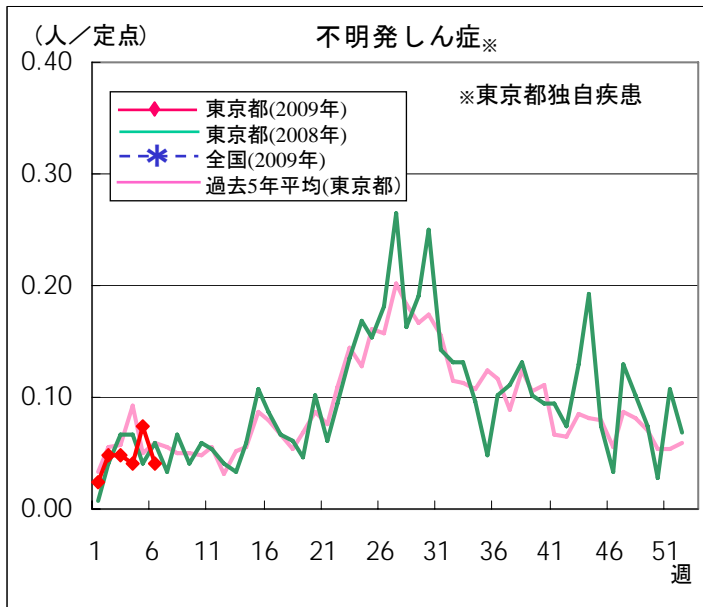
東京都	0.32	0.04	0.01	17.33	0.05	0.38
-----	------	------	------	-------	------	------

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2009年6週現在

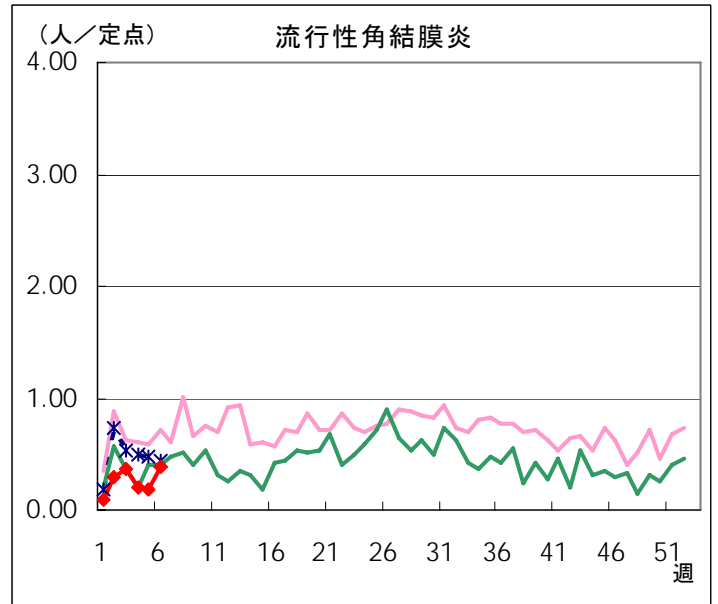
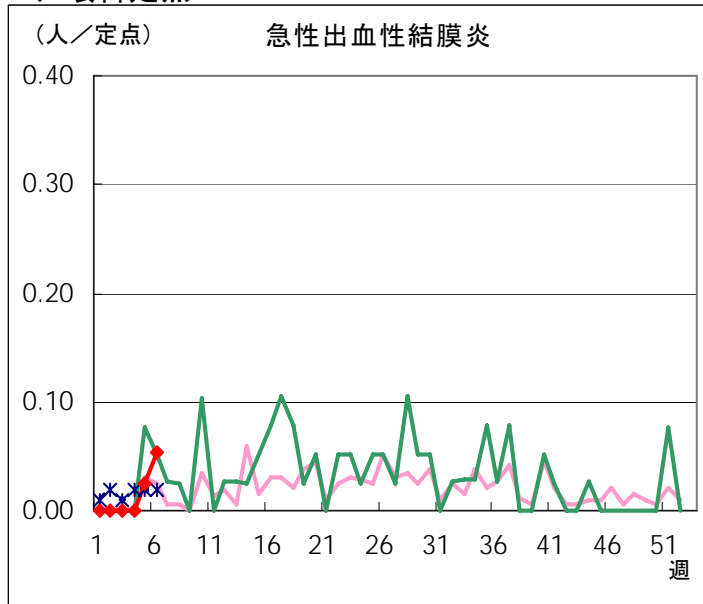
◆ 小児科定点



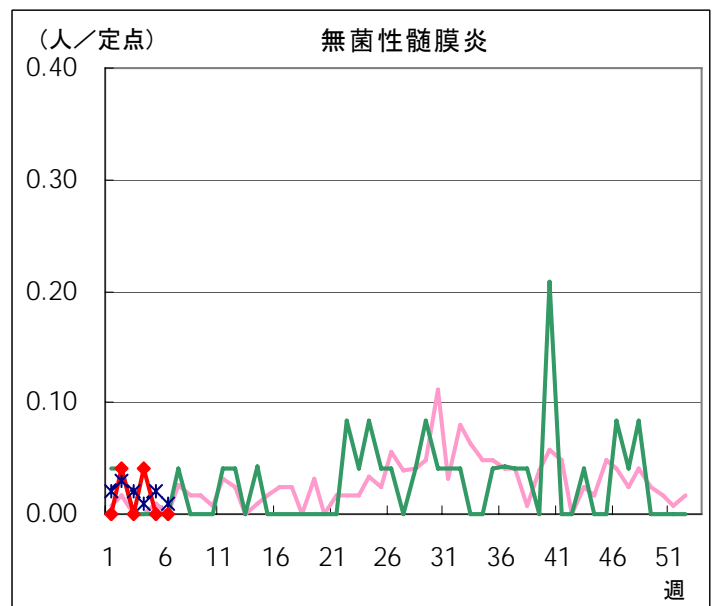
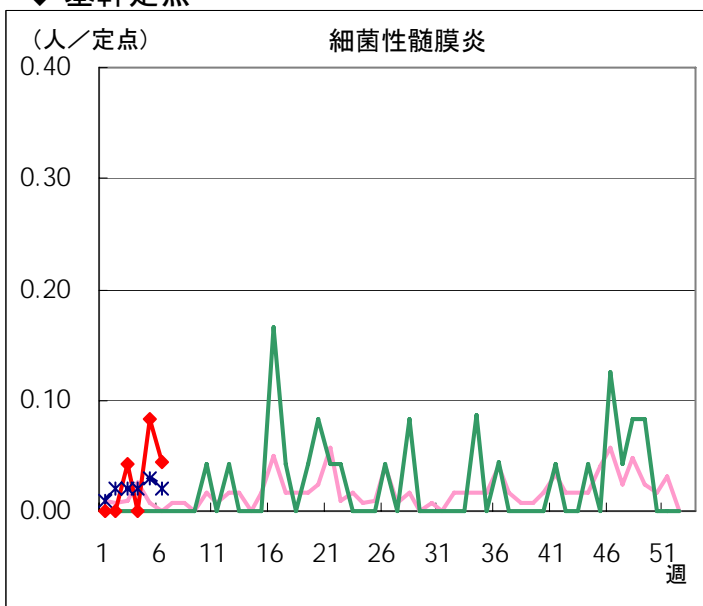


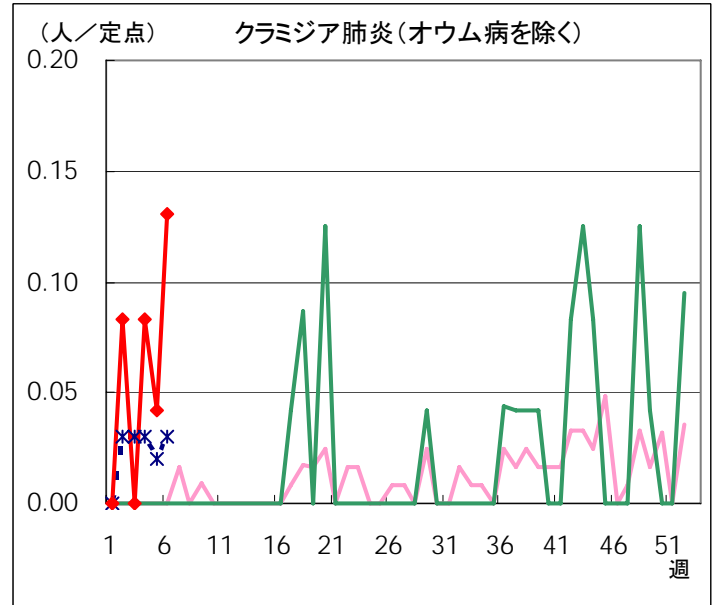
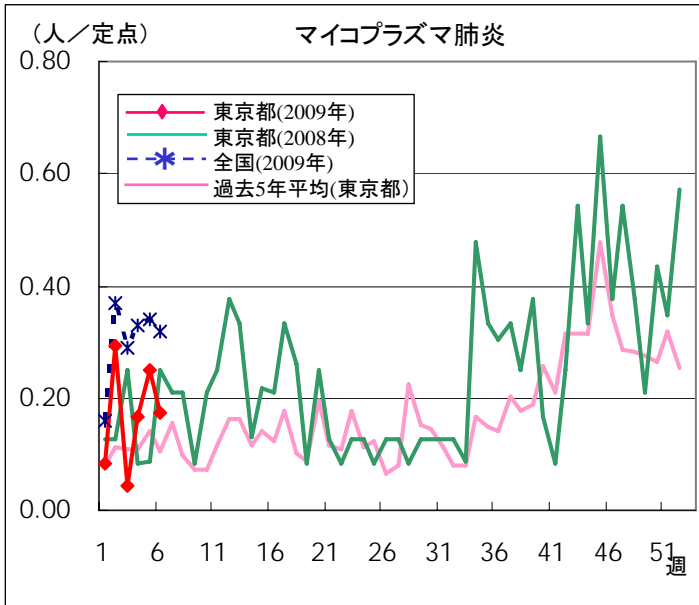


◆ 眼科定点

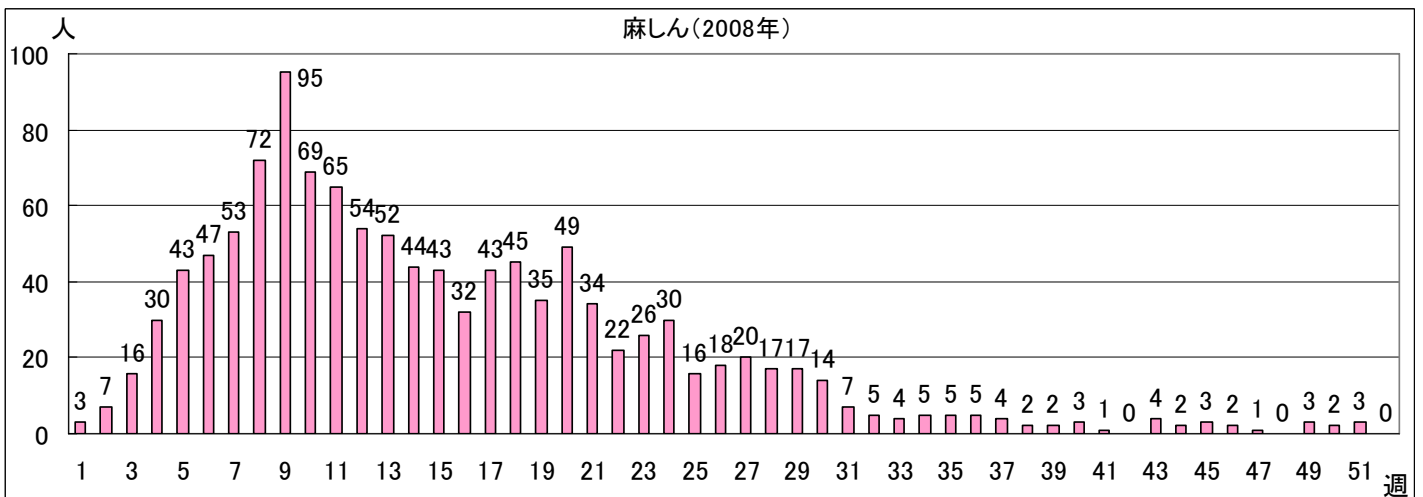
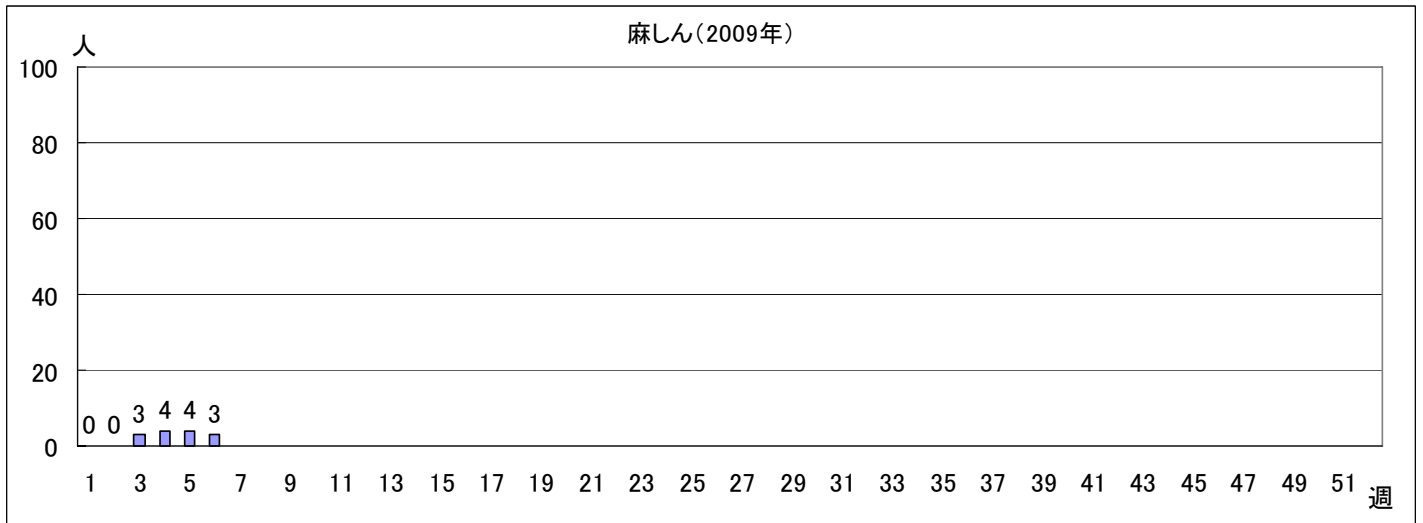


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2009年6週現在



定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果等に関するコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
みなと	4		他4名
	5		
	21	5	
新宿区	9	2	7歳、8歳児はB型。
	6	1	
	9	1	1歳児B型1名。
	21		
台東	48	1	5歳児1例B型 他は全てA型。
	16		
江東	33	3	
	4		
	19	4	
	30	2	
品川区	15		
	50	8	
目黒区	13	1	12歳女子B型、他はすべてA型。
	1		
	17		
	1		
	18		すべてA型、タミフル有効。
大田区	24	5	A型24名、B型5名(うち1名はA+B複合感染)
	14	1	
	14	1	インフルエンザB型24才、その他はインフルエンザA型。
	40	3	
	10	1	B型14歳児、他はA型。
	20	1	
	11		
27			
世田谷区	10	2	B型:15歳と11歳児
	3		
	4	3	他6名
	16	1	
	5	1	
	1		
	7		
4			

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
渋谷区	6	2	
	5	1	
	5	1	
中野区	13	3	
	10	6	
	61	5	
	21	2	
	8	9	
	4	2	他2名
	18	3	A型18人、B型3人。B型はすべて小学生でした。
	19		A型19人。かなり予防注射を受けた者にインフルエンザ患者が出ている。
13		A型13人、型不明2人。	
杉並	38	3	B型7歳児3名のみ、後は全員A型。
	12	6	
	13	1	6歳児B型(今季当院で初)
池袋	11		
	29	2	
	3		
北区	12	6	今週になって、インフルエンザB型陽性患者が増加しています。 (18名中6歳までの児童6名)
	11		
			インフルエンザはまだ多いですが、減少傾向にあるようです。(全27名)
	7		
			今週になってB型陽性例が散見されます。 雨のためかピークは終わったようですが。(全10名)
足立	46	2	
西多摩	6		他1名
	48		
	4	1	
	20	5	
町田	2	1	14歳児はB型。
			B型が発生し始めた。(全13名)
	8	1	16歳児1名のみB型、他はすべてA型。
多摩立川	14		
		1	18歳B型。
	21	6	A型:1歳2名・3歳・5歳・6歳2名・7歳2名・8歳・10歳5名・11歳・14歳・16歳名・26歳・35歳・42歳・65歳(未接種) B型:8歳2名・10歳・11歳・12歳2名 症状により:24歳・29歳・30歳・45歳
	13		
			40代女性以外今季ワクチン未接種者ばかりの感染です。(全5名)

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
多摩府中	18	1	10歳児1名はB型、それ以外はA型。
多摩小平	14		
	6	2	
	13	12	
	32	15	
	48	3	
			集団発生続いているが、全般的に症状は軽い。 Aノ連型のタミフル無効例は報道されているよりも頻度は少ない印象。(全78名)
	18	10	
	19	3	
	3	1	
八王子市	68	14	
	5	3	
	3		
	14		
	35	7	
	53	6	

※5週週報で、多摩小平保健所管内の定点医療機関からのコメントの「C型1名」は、「不明1名」に訂正します。

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
1/16	耳下腺炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス、EBウイルス	遺伝子
1/20	インフルエンザ	7	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/20	インフルエンザ	4	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型	
1/20	インフルエンザ	12	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型	
1/20	百日咳疑い	6M	鼻腔拭い液	百日咳菌	
1/20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症疑い	63	菌株(髄液由来)	腸球菌 (vanC1遺伝子) <i>Enterococcus gallinarum</i>	分離同定 遺伝子
1/21	RSV感染症	4M	咽頭拭い液	RSウイルス	遺伝子
1/22	急性胃腸炎	7	糞便	ノロウイルス	
1/22	感染性胃腸炎	10M	糞便	ノロウイルス、アデノウイルス エンテロウイルス	
1/22	急性脳症	4	髄液	エンテロウイルス	
1/23	白色便	1	糞便	ノロウイルス	
1/23	不明熱	1	咽頭拭い液	アデノウイルス、エンテロウイルス	
1/23	インフルエンザ	17	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型	
1/23	インフルエンザ	24	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型	
1/23	インフルエンザ	75	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型	
1/24	偽膜性扁桃炎 (伝染性単核症)	10	咽頭拭い液	EBウイルス	
1/24	インフルエンザ	7	記載無し	アデノウイルス インフルエンザウイルスAH1型	
1/24	インフルエンザ	7	鼻汁	アデノウイルス インフルエンザウイルスAH1型	
1/24	インフルエンザ	36	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/26	アトピー性皮膚炎、発熱	7M	咽頭拭い液	単純ヘルペスウイルス1型	
1/26	インフルエンザ けいれん重積	1	咽頭拭い液	単純ヘルペスウイルス1型 インフルエンザウイルスAH1型	
1/26	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
1/26	インフルエンザ	6	鼻汁	インフルエンザウイルスAH3型	遺伝子
1/26	インフルエンザ	4	鼻汁	インフルエンザウイルスAH3型	
1/26	インフルエンザ	3	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型	
1/26	インフルエンザ	7	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型	
1/26	インフルエンザ	2	鼻汁	インフルエンザウイルスAH3型	
1/26	インフルエンザ	6	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型	
1/26	インフルエンザ	2	鼻汁	インフルエンザウイルスAH3型 アデノウイルス	
1/26	インフルエンザ 感染性胃腸炎	10	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/26	急性咽頭炎	4	咽頭拭い液	アデノウイルス	
1/26	インフルエンザ	7	鼻汁	アデノウイルス インフルエンザウイルスB型	
1/26	インフルエンザ	54	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/27	川崎病	4	咽頭拭い液	ライノウイルス マイコプラズマ・ニューモニエ	
1/27	敗血症 膿胸(突発性発しん)	5M	咽頭拭い液	ライノウイルス	
1/27	流行性耳下腺炎	6	記載無し	ライノウイルス	
1/27	発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
1/27	インフルエンザ	7	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/27	インフルエンザ	41	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型	
1/27	インフルエンザ	10	鼻汁	アデノウイルス、ライノウイルス インフルエンザウイルスAH1型	
1/28	無菌性髄膜炎	50	髄液	ムンプスウイルス	
1/28	インフルエンザ	4	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/28	流行性耳下腺炎	7	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	
1/28	発熱 インフルエンザ	6	鼻汁	アデノウイルス インフルエンザウイルスB型	
1/29	インフルエンザ	5	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/29	急性上気道炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
1/29	急性気管支炎	3	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型	遺伝子
1/29	百日咳	1M	咽頭拭い液	百日咳	
1/29	手足口病	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス6型7型	
1/29	インフルエンザ	29	鼻汁	アデノウイルス	
1/29	インフルエンザ 急性咽頭炎	31	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型	
1/29	インフルエンザ	8	鼻汁	アデノウイルス インフルエンザウイルスAH1型	
1/30	インフルエンザ	2	咽頭拭い液	ライノウイルス インフルエンザウイルスAH3型	
記載無し	インフルエンザ	28	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	

◇積極的疫学調査による搬入検体

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
記載無し	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	73	菌株(皮膚由来)	A群溶連菌 (T-28型) <i>Streptococcus pyogenes</i>	血清型

**52週報告の全数把握対象疾患症例からの検体

オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルス株の検出状況

2/12現在

調査方法	A/H1N1分離株	耐性株
感染症発生動向調査	2	2
学級閉鎖等	11	11

詳しくは<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/flu/>を参照下さい。

病原体検査情報 【検出病原体別・週別】

検出病原体		2008/2009年							
		49週	50週	51週	52+1週	2週	3週	4週	5週
ウイルス	アデノウイルス	9	8	9	9	2	3	7	12
	ライノウイルス	5		10	2	4	2	2	6
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	9	11	8	10	2	6	4	4
	単純ヘルペスウイルス		1	1			2		3
	水痘・帯状疱疹ウイルス		1						
	ヘルペスウイルス6/7	3	1	7	5	4	3	2	4
	EBウイルス	3	1	2	3	5	3	2	1
	サイトメガロウイルス				1	4	2	4	
	ムンプスウイルス		1	1	4	3	3	1	2
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19			1	1			1	
	RSウイルス	7	4	7	1			1	1
	ノロウイルス	4	1	11	4	2	6	2	3
	ロタウイルス				1		1		
	インフルエンザウイルスAH1		4	8	6	18	13	29	20
	インフルエンザウイルスAH3	2	1	2	7	8	7	9	9
インフルエンザウイルスB					1			2	
デングウイルス									
その他のウイルス			1						
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌		1						1
	溶血性レンサ球菌	1		1	1				1
	その他の細菌				1	1			2
その他の病原体							1	1	1

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2008年49週～2009年5週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	
搬入検体数	169	45	38	74	55	2	5	7	1	6	3	35	17	3	1		122	
ウ イ ル ス	アデノウイルス	14	13	7	3	1	2	4		2		2	3				8	
	ライノウイルス	2	6	5	4					1	1	2	4				6	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス	4	6	4	10	7	1		1	1	4		4	1			11	
	単純ヘルペスウイルス	1				1												5
	水痘・帯状疱疹しんウイルス													1				
	ヘルペスウイルス6/7									2		10	1		1		15	
	EBウイルス	1				2						1	5	7				4
	サイトメガロウイルス					1							10					
	ムンプスウイルス					3								12				
	麻しんウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19											2	1					
	RSウイルス	1	7	12														1
	ノロウイルス		2		30													1
	ロタウイルス				2													
	インフルエンザウイルスAH1	92	4															2
	インフルエンザウイルスAH3	43	1	1														
インフルエンザウイルスB	3																	
デングウイルス																		
その他のウイルス				1														
細 菌	カンピロバクター																	
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																2	
	溶血性レンサ球菌							3									1	
その他の細菌		2					2											
その他の病原体		1	1														1	